

【対応状況(国際競争力を向上させる安全な食料の生産・供給科学技術)】

「新農業展開ゲノムプロジェクト」を優先度判定において高く評価

○革新的遺伝子組換え作物の開発とそれらの理解促進に向けた研究

・平成20年度概算要求における優先度判定でS評価、12億円（平成20年度予算額）

（食料・環境・エネルギー問題を解決するため、遺伝子組換え技術を駆使した超多収イネなど画期的な作物開発を行う。また、遺伝子組換え作物の受容を進めるため、消費者の信頼確保のための管理技術の開発や国民との対話の促進などを実施する。）

○有用な遺伝子を見つけ、それらの働きを確かめる研究

・平成20年度概算要求における優先度判定でA評価、15億円（平成20年度予算額）

（食料・環境・エネルギー問題を解決するため、有用遺伝子の単離・同定、染色体地図上での位置の特定、遺伝子の機能の解明等を集中的に実施する。）

科学技術連携施策群「食料・生物生産」において推進体制を検討

・ GMO(遺伝子組換え農作物)の実用化研究の推進に向けた検討を行い、円滑な屋外栽培試験の促進に関する推進方策(第一次取りまとめ)を取りまとめ中

BT戦略推進官民会議(関係6大臣閣僚と有識者)により、昨年12月、バイオテクノロジーの推進方策を取り纏めた(ドリームBTジャパン)

その中に提言されている「国民理解推進作業部会」を開催し、新たに研究開発された革新的バイオテクノロジーに関する教育や国民理解を促進する。